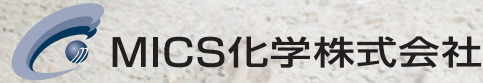


# 第51期 中間報告書

2019年5月1日～2019年10月31日



証券コード：7899

## 株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第51期第2四半期累計期間（2019年5月1日～2019年10月31日）の報告書をお届けするにあたり、業務の概況及び業績等についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間の連結ベースの売上高は1,273百万円、営業利益は28百万円、経常利益は24百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円となりました。

当社グループは、『パイオニアブランド復活』を中期的展望のスローガンとして掲げ、多層フィルムの商品力再強化と機能性を高める素材開発で国内外シェアを拡大していく成長戦略を第51期の重点施策として事業活動を進めて参りました。

上期においては、食品分野では着実に売上を伸ばし、非食品分野の売上はわずかに減少したものの、全体では増収となりました。下期においてもより一層受注活動に注力していく所存です。また、上期には既存製品の改良版を発売し、開発テーマである新素材フィルムも商品化目前の段階になっており、今後の事業活動に貢献していくものと期待しております。

なお配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を重要課題と考えており、地道に経営基盤を強化し、常に安定配当を維持しつつ、業績に裏打ちされた成果配分を行うことを基本方針としており、中間配当金としては1株当たり5円とし、支払開始日を2020年1月8日（水）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解をいただき、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月



代表取締役社長  
大塚 茂樹

## 通期の見通し

第51期（2019年5月1日～2020年4月30日）通期につきましては、米中貿易摩擦問題や不安定な原油相場の動向など、依然として先々の不透明感が残るものの、国内における経済環境は引き続き堅調に推移するものと思われる。

当社にとって特に影響が大きい原油・ナフサの価格動向に注視しつつ、基本である品質、コスト、納期、環境（QCDE）の更なる改善を推し進め、今年度通期予想を達成していく所存です。

売上高	通期予想 (第51期) <b>2,705百万円</b> 前期実績(第50期) 2,535百万円	(前期比) <b>6.7%増</b>
営業利益	通期予想 (第51期) <b>84百万円</b> 前期実績(第50期) 80百万円	(前期比) <b>4.9%増</b>
経常利益	通期予想 (第51期) <b>86百万円</b> 前期実績(第50期) 85百万円	(前期比) <b>0.9%増</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	通期予想 (第51期) <b>57百万円</b> 前期実績(第50期) 53百万円	(前期比) <b>7.0%増</b>

## 営業の概況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは新規顧客開拓活動を進めた結果、食品分野は着実に売上を伸ばしたものの、非食品分野の売上はわずかに減少し、売上高は1,273百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

利益につきましては、全社挙げてのコストダウンに取り組んでおりますが、設備投資に伴う減価償却費の増加や全国的な運賃の値上げ等により、営業利益は28百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。また、経常利益は24百万円（前年同四半期比22.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同四半期比45.9%減）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野では惣菜用途及び農産用途が増加しましたが、畜産用途が減少し、売上高は749百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

非食品分野では、売上高は281百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

商品等につきましては、売上高は243百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

用途別売上高は次のとおりです。

### ■ 売上高の内訳

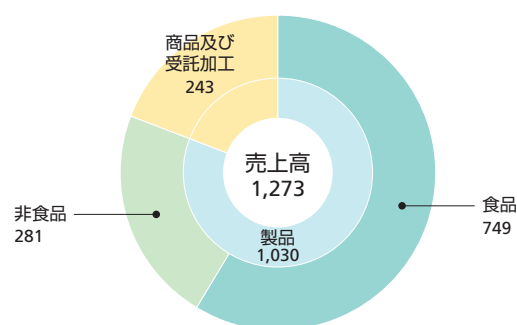
(単位：百万円)

用途別		第51期第2四半期累計 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	前年同四半期比(%)
製 品	食 品	749	3.2
	非 食 品	281	△0.9
	製 品 合 計	1,030	2.0
商品及び受託加工		243	1.0
合 計		1,273	1.8

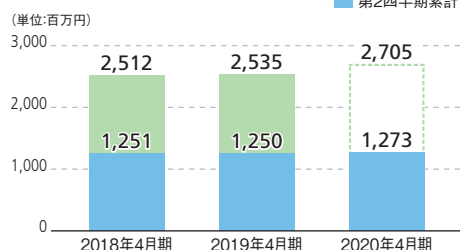
(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ 第51期第2四半期累計実績

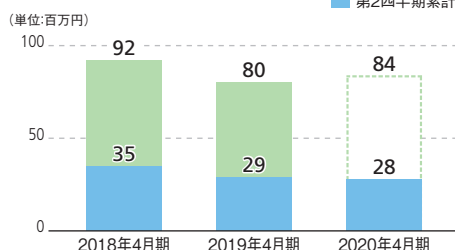
(単位：百万円)



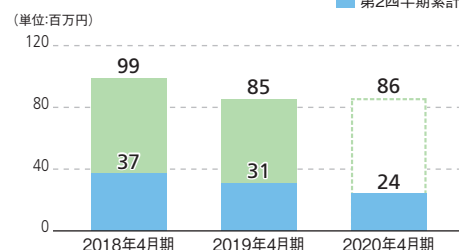
#### 売上高



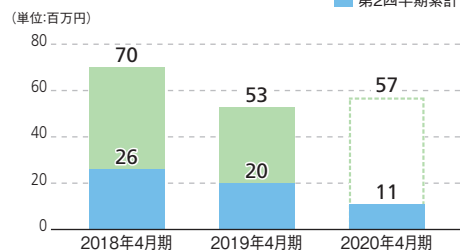
#### 営業利益



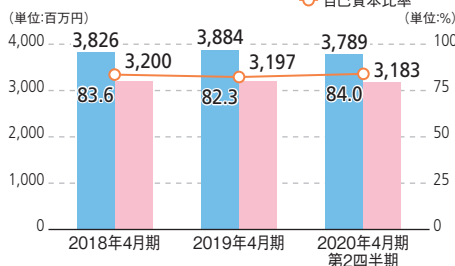
#### 経常利益



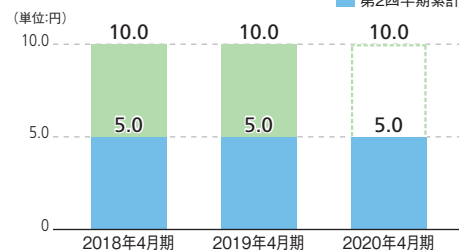
#### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



#### 総資産、純資産、自己資本比率



#### 1株当たり配当金(年間)



## ホームページリニューアルのお知らせ

デザインを一新し、読みやすくいたしました。

2019年12月に弊社ホームページをリニューアルいたしました。

トップページ、IRページを始めとした各ページが見やすく、便利になりました。

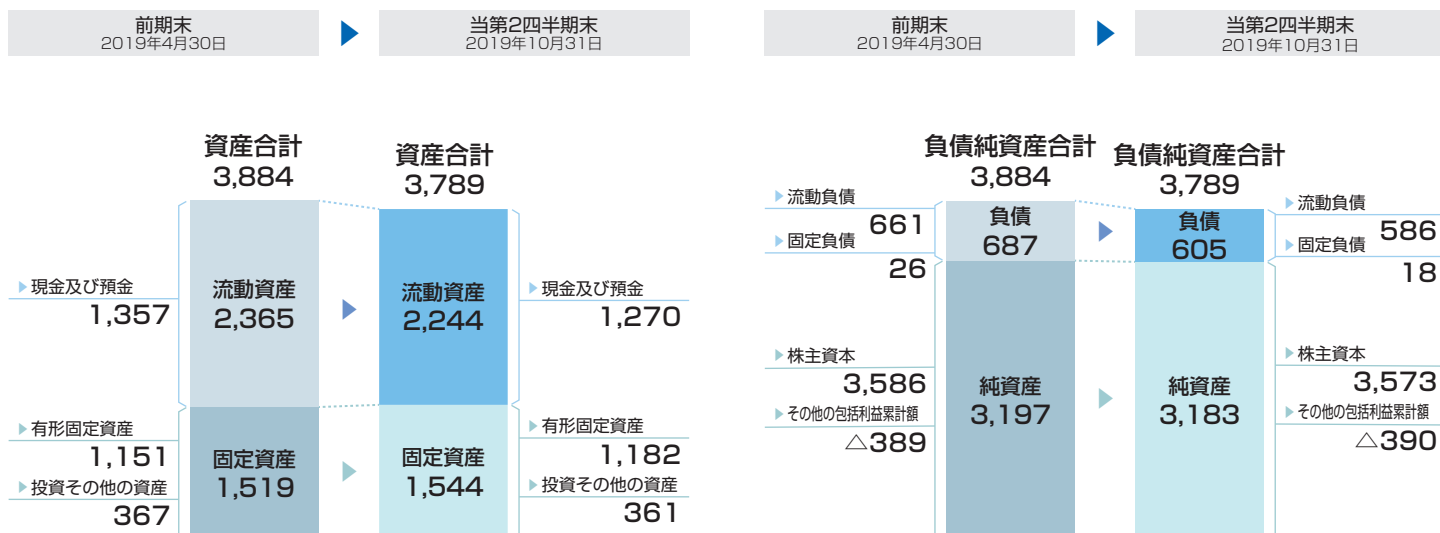
是非一度ご覧ください。

URL <https://www.c-mics.com/>



## 四半期連結財務諸表

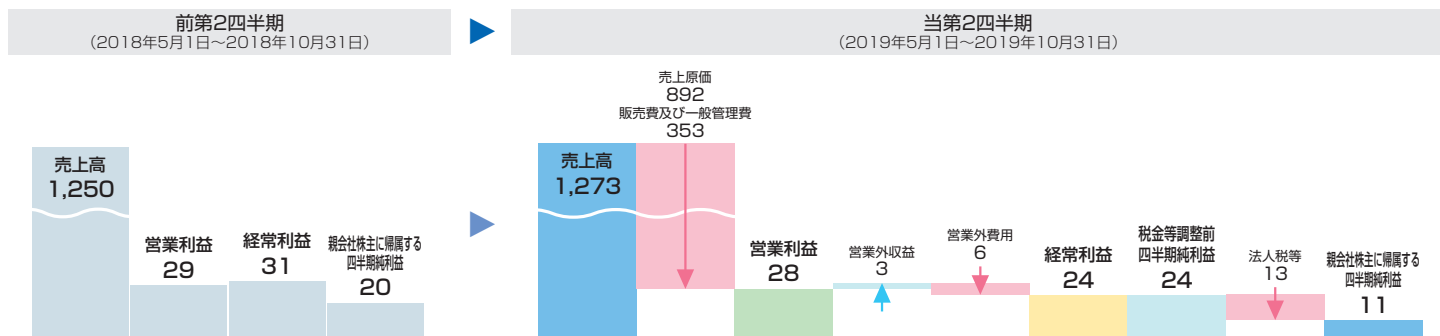
### ■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



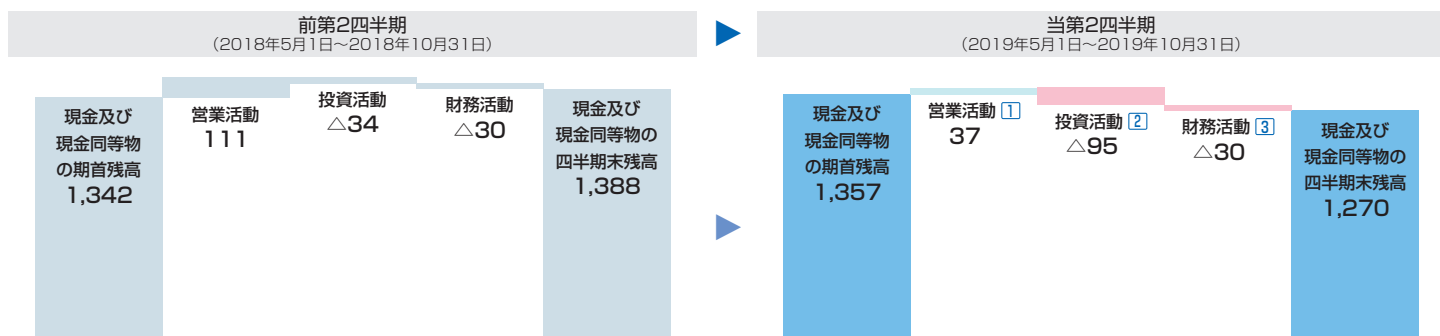
### 補足説明

- (資産)** 当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。これは主に電子記録債権が18百万円、商品及び製品が16百万円増加したものの、現金及び預金が87百万円、受取手形及び売掛金が66百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,544百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産その他が37百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が70百万円増加したこと等によるものであります。この結果、総資産は、3,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。
- (負債)** 流動負債は586百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主にその他が51百万円、支払手形及び買掛金が13百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は18百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。この結果、負債合計は、605百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。
- (純資産)** 純資産合計は3,183百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円、剰余金の配当26百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は84.0%となりました。

### ■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



### 補足説明

- ① 営業活動の結果得られた資金は37百万円となりました。これは仕入債務の減少額13百万円、未払金の減少額21百万円、法人税等の支払額16百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益24百万円、減価償却費56百万円、売上債権の減少額47百万円等があったことによるものであります。
- ② 投資活動の結果使用した資金は95百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出94百万円等があったことによるものであります。
- ③ 財務活動の結果使用した資金は30百万円となりました。これは短期借入金の減少額2百万円、配当金の支払額26百万円等があったことによるものであります。

## 会社の概況

(2019年10月31日現在)

社名	MICS化学株式会社
資本金	7億74百万円
創業	1959年2月
従業員	83名（他に臨時雇用者16名）
主要な事業内容	多層チューブフィルムの製造、販売 ウレタンチューブフィルムの製造、販売 グラビア印刷ならびに製袋加工 シュリンクラベルフィルムの加工販売 その他合成樹脂製品の販売
本社	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89 電話 0561-39-1211 URL <a href="https://www.c-mics.com/">https://www.c-mics.com/</a>

## 役員

(2020年1月7日現在)

代表取締役社長	大塚 茂 樹
取締役	石原 裕 之
取締役	高橋 英 明
取締役	丸山 等
取締役	後藤 もゆる
常勤監査役	長谷川 隆
監査役	佐原 司 郎
監査役	中神 邦 彰

会計監査人 監査法人 東海会計社

## 事業所

札幌営業所	札幌市手稲区新発寒6条1-1-5
仙台営業所	仙台市青葉区本町1-14-18
東京営業所	東京都中央区日本橋大伝馬町17-1
名古屋営業所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
大阪営業所	大阪市福島区福島1-3-11
広島営業所	広島市南区京橋町9-3
福岡営業所	福岡市博多区豊1-8-21
本社製造所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158-89
東京製造所	埼玉県越谷市小曾川字居377
札幌製造所	札幌市手稲区新発寒6条1-1-5

## 子会社

エイワファイン  
プロセッシング株式会社 埼玉県越谷市大間野町3-108

## 株式の状況

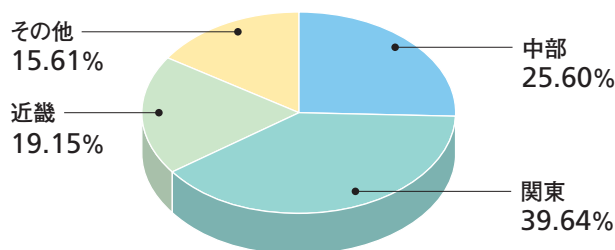
(2019年10月31日現在)

発行可能株式総数	23,850,000株
発行済株式の総数	5,850,000株（自己株式602,507株を含む）
株主数	1,781名
上位10名の株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
盛田エンタプライズ株式会社	2,608,000	49.69
名古屋中小企業投資育成株式会社	210,000	4.00
MICS化学取引先持株会	152,500	2.90
MICS化学従業員持株会	150,274	2.86
株式会社三井住友銀行	120,000	2.28
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	72,800	1.38
伊藤 藤 公 一	60,200	1.14
歌川 勝 久	53,000	1.01
奥田 耕 三	50,000	0.95
八木 英 司	38,300	0.72

(注) 当社は自己株式602,507株を保有しておりますが、上記からは除外しております。また、持株比率については自己株式を控除して計算しております。

## 地域別株主構成



## 株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会 期末配当 毎年4月30日 中間配当 毎年10月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.c-mics.com/">https://www.c-mics.com/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
インターネットホームページURL	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

## 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

